

漫才 ハンバーグレストラン

(A がボケ、B がツッコミ)

A：あの一俺さ

B：はいはい

A：ちょっと最近、お金に余裕がなくなってきたから、内職始めたのよ。

B：え、内職してるの？

A：うん。

B：そうだったんだ初めて聞いたけど。

A：そう。

B：どんな？

A：まあ最初はベタだけどカレーとかから初めて、

B：ん？

A：最近はチャーハンとか焼きそば、オムライスとか…

B：ちょっと待って。お前自炊のこと内食っていつてる？

A：え？

B：お前自炊のこと外食の逆みたいに内職って言うてるの？

A：まあまあ今まで他炊続きだったからね。

B：そっち外食って言うんだよ。

A：あそっか。

B：逆だから全部。最近自炊始めたって話ね？

A：そう。そんで昨日初めてハンバーグ作ってみたんだけど

B：あー、ハンバーグね。

A：それがね、もうマジで美味くて、

B：そうなんだ。

A：将来ね、ハンバーグレストランをやることにしたんです。

B：え、そこまで？初めて作って店出すレベルまできたの？

A：すごい美味かったからね。

B：だいふ思い切ってるな。

A：で、普通にやるのもつまんないから、

B：え？

A：なんか家族みんなで作る、みたいなの良いかなって思って。

B：あー、たまにあるよね家族で経営してる飲食店ね。

A：そうそうそう。

B：いいじゃん。

A：その感じ今ここでやるから、お客さんで入って来て。

B：俺客ね。

(ここからコトイン)

A：よーし。

B：ここが噂のハンバーグレストランか。ご家族でやられてるって珍しいよな。入ってみよう。ガラガラガラ。すいませーん。

A：いらっしやませー！

B：どうもー。

A：ようこそハンバーグレストランミウラへ。

B：あ、こんにちは。

A：オーナーのヤマグチと言います。

B：あっ、ミウラじゃないんだ。レストランミウラって言ってたから。

A：ヤマグチです。

B：ミウラって、奥様の名字とか？

A：あっ、じゃなくてですね。僕の初恋の子の名字なんですよ。

B：あ、やめた方が良いですね。めっちゃめっちゃ未練あるって思われますよ。

A：お客様は、独り身様ですか？

B：感じ悪いな。妻子持ちが独り身ですかとか聞くなよ。お一人様ですか？ね。

A：あっ、お一人様ですか？

B：一人ですけど。

A：あの実はですね、お客様が本日最初のお客様なんですよ。

B：珍しいな。え、本日最初のお客様とか言うの？

A：はい。なので、当店は全席新鮮となっております。

B：いや全席禁煙みたいに。誰も使っていないから新鮮とかいいんだよ。

A：お席ご案内いたします。

B：あ、ありがとうございます。

A：こちらです。

B：はいはい。

A：当店はですね、炭焼きハンバーグをモットーにやってるんですよ。

B：あ、いいですね。炭火で焼いたハンバーグ。外食ならではですね。

A：あっ、そうじゃなくてですね。当店は全品フライパンのすみっこで焼いております。

B：そっちのすみかい。火通んないでしょ全然。

A：提供スピードが遅くなっちゃって。

B：すごい焦らされるじゃないですか。

A：すみっコじらしね？

B：うるせえな。全体使ってくださいよフライパンの。

A：いやー、あのそれがですね、

B：え？

A：先日ですね、うちのフライパンの真ん中でカメムシが死んでるのを発見しまして。

B：どういうこと？カメムシ！？

A：こりゃ真ん中は使えんぞと。

B：いやいや全部使えないでしょ。絶対変えて下さいよフライパン。

A：気が向いたら変えますね。

B：今すぐ変えろって！やだなあ。

A：ガラガラガラ。あれ？

B：なんだ？

A：(子ども A として) ただいまー！(子ども B として) ただいまー！

B：あっ、お子さんですか？

A：はい。今二人とも小学校1年生で。

B：へえー双子なんですね。かわいい。

A：はい。こっちがナツミで、こっちがメグミです。

B：ナツミちゃん、メグミちゃんね？

A：(子ども A) ねえねえ父ちゃんみて！(子ども B) またカメムシさん捕まえた！

B：こいつらのせいじゃねえかおい。何してくれてんだよ

A：お店にムシ持ってきちゃダメって言ってるだろナツメグちゃん

B：あ、ナツメグが名前の由来なんだ。じゃあ本来臭みを取り除くのがナツメグだろ。なんで持ってきちゃうんだよ。

A：ヒューードスーン！！

B：今度は何！？すごい爆発音聞こえたけど。

A：あっ、帰ってきたな。

B：え？

A：ナツメグ、ちょっとあれ取って来て！

B：ナツメグ気になるな。いやあの、なんですか？今の。

A：あ、あれはですね、タネの状態のハンバーグです。

B：焼く前のハンバーグってこと？

A：ハンバーグって焼く前に空気抜かないと美味しくならないじゃないですか。

B：はい。

A：うちはですね。それを小型のカプセルに入れてまして、一回宇宙空間に飛ばすんです。

B：は？

A：はい。それで真空状態に入ってタネの中の空気が完全に尽きたらカプセルを切り離してこっちに戻すんですよ。

B：徹底しすぎだろ！そこまでしなくていいよ。どうやってやんだよ。

A：全部奥で嫁が操作してくれてるんですよ。

B：え、奥様が？

(A、嫁がめっちゃパソコンとか動かすマイム)

B：すごいすごいすごい！変過ぎるだろ飲食店の協力の仕方として。

A：ガラガラガラ。

B：あ、カプセルかな？

A：取ってきた！

B：どれどれ？

A：カメムシさん！

B：いやカメムシいいんだよ。いい加減にしろ。